

令和2年度社会福祉法人明星会事業計画

1 法人の理念

社会福祉法人明星会は、『みんな幸せになりたい あなたも私も』を基本理念とし、法人が行う福祉サービスが、利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう、支援することを目標としています。

2 法人組織

社会福祉法人に求められていることは、「地域における公益的な活動の推進」「法人組織の体制強化」「法人運営の透明性の確保」であり、利用者及び地域住民等から信任を得続けるよう努めます。

(役員等の構成)

評議員 8 名 理事 7 名 監事 2 名

(会 議)

評議員会 年 2 回以上 事業計画、予算・決算

理事会 年 4 回以上 運営状況、職務執行報告、事業計画、予算・決算

3 事業計画

(1) 明星学園・第二明星学園

ア 運営方針

「明星学園10年構想～グランドデザイン～」を見据え、どんなに障がいが高くても、地域社会で「主体的に生きる」ことによって自己実現が満たされることを目指し、「コミュニケーション支援」、「自己確立と自己実現の支援」、「社会参加への支援」を行っていきます。

また、様々な障がいと多様なニーズを持っている利用者に対して、異なる価値の共存を認め合う「共生社会の実現」に向けて、利用者一人ひとりの「どんな暮らし」のために「何が必要か」を包括的に考え、求められる活動支援を行っていきます。

家族会との連携、外部機関との連携を図り、支援サービスの向上をめざしてまいります。

イ 理念・憲章・行動基準

理念 『みんな幸せになりたい あなたも私も』

憲章 本当の気持ちを伝えられずに困っている知的障がい・自閉症の方に、「パーソンセンタード」（本人中心）を基本とした、行動すべてが発信であるという「お心主義」の信念で、「意思決定支援」を実践する、あなたも私も幸せになる場所です。

行動基準 ①笑顔で明るいあいさつを、自分から先にします。
②利用者の目線で安全を考え、健康や環境に異常を感じたらすぐに報告し、対応します。
③どんな小さな発信も受け止め、対等、肯定の姿勢で、意思決定をサポートします。
④職員同士で報・連・相を行い、お互いを認め、助け合うチーム支援をします。
⑤家族や地域に情報発信し、情報を共有します。
⑥関わるすべての人に「ありがとう」「助かったよ」を伝えます。

ウ 事業の概要

①施設入所支援

- 「お心主義」に基づくパーソンセンタードな支援とプログラムの提供に努めます。
- 「自己選択」を尊重した意思決定支援に努めます。
- 利用者の心身機能低下に注意し、より個別的な医療・介護の支援を実施します。
- 利用者の旅行は、利用者の希望に沿って実施します。
- カラオケなど従前から行っている余暇活動に加え、地域行事なども視野に入れ豊かな余暇活動を支援していきます。
- 家族の高齢化や世代交代等により疎遠傾向となる家族が増えていますが、家族会役員等と十分連絡調整しながら家族会活動が継続、発展するよう協力します。
- 利用者にとって高齢になっても家庭や故郷は心の拠り所です。支援職員を中心に、家族と円滑な交流が継続できるよう、定期的に家庭連絡を行い、利用者の近況や想いを伝えます。
- 利用者の個別支援計画等の説明をはじめ不安や要望等について話し合いを行うため、家庭との懇談会を年3回開催します。また、利用者の預り金の確認も同時に実施します。

②生活介護

- 利用者個々のニーズを把握し、個別支援計画に沿った質の高いサービス提供を行います。
- 利用者に季節感のあるサービスとしてお花見、明星きらめき祭、餅つき大会、

どんど焼き等の季節行事を実施します。

- 日中活動の充実を図るべく、言語聴覚士（ST）巡回指導、理学療法士（PT）巡回指導、アート活動、運動療法、アロママッサージ、アニマルセラピー、ウイークエンドシアターなどのサービス提供を行います。
- 日中活動支援スペース「わくわく」を音楽・アート活動・料理・クラブ活動等に活用し、生活の充実を図ります。また、日中活動の選択肢が広がるようにア

イデアを出しながら更に検討していきます。

- 利用者の希望や要望に応じた、外出、外食、買い物等の機会も継続して実施します。
- 利用者の自治会「白樺会（しらかば会）」の活動を援助し、活動内容等の決定を利用者自らができるように意思決定支援を行います。

③短期入所事業

- 短期入所事業は、特に緊急性の高いケースについて優先的に受け入れます。常に部屋の空き状態を確保しながら、地域の「困った」に可能な限り対応できるように努めていきます。

④地域拠点事業

- 地域拠点事業は、障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、相談、緊急時の受け入れ・対応等の必要な機能を備えた事業であるが、地域生活支援拠点になるよう検討していきます。

⑤人材育成

・人材の確保

- 新たにリクルート会社「マイナビ」と契約し、将来に向けての人材の確保に全力を注ぎます。その他の企業の利用を考えます。
人材の確保が困難な時代ですが、募集方法や活動を工夫し、また、ホームページや各地域で開催される就職説明会に積極的に参加し「人材の確保」を重点課題として取り組みます。
- 長野県知的障がい福祉協会の「人材確保対策特別委員会」の活動に協力「job マッチングフェア in 長野」にも参加します。
- 飯田女子短期大学と連携を図り、学生と利用者との交流会、アルバイト、施設訪問等、多くの学生に明星学園を理解してもらえ就職への意識を高めたい。

・人材の育成、支援技術の向上

- 明星学園主催の「療育研究会」「臨床動作法飯田月例会」等研修の機会を積極的に活用するとともに、外部研修にも積極的に参加し職員の資質向上と支援力の強化を図ります。

- 内部研修として、月に1度 理学療法士（外部講師）及び言語聴覚士（外部講師）巡回指導を実施し、理学療法士については利用者の運動機能の回復、褥瘡の予防などの指導を行ってまいります。また、言語聴覚士については、嚥下、咀嚼能力に低下がみられる利用者に対し、きざみ食や食事の時の姿勢などについて指導を行ってまいります。課題を抱えている利用者に対し実際に指導して頂けることで職員も十分に理解でき支援技術を身に付けてまいります。
- さらに、毎月課題を決めてレポートを提出してもらうことで、意識・知識の向上及び自己啓発に努めることを目指します。
- 一般常識の研修として外部講師を招き接遇研修を行い、外部の方々に適切な対応がとれることを目指します。
- 研修計画を充実させ、効率的な業務遂行と職員個々の業務に対する自覚や責任感の醸成及び意欲喚起を図るとともに、効率的な業務遂行を進めます。
- 地域の新聞、広報を活用し、明星学園が行っている「療育研究会」「臨床動作法 飯田月例会」等を福祉関係者等に周知し、地域ともに研修を図りたい。

※ 研修計画は 「別紙 1」 のとおりです。

エ 施設設備等の整備事業

- ・利用者処遇の向上等のため、施設、設備の改修が必要となってきました。
 - 利用者居室、全室エアコン設置
 - 居住棟の改修（個室化）
 - 居室の改修（和室から洋室へ）

(2) グループホーム

ア 運営方針

「明星学園10年構想」の中に位置づけられた地域社会で「主体的に生きること」を目指していましたが、29年度に新たなグループホーム「北方日の出ホーム」を開所することができました。

「北方のぞみハイツ」、「北方日の出ホーム」の2カ所のホームの利用者10名の個々のニーズに即したサービス提供を行います。

余暇活動の充実や、地域行事への積極的な参加・交流を促進し、家庭的で風土色豊かなホーム環境づくりなどに力を入れ、利用者にとってより良い生活環境の提供を目指します。

世話人に併せて本体の職員が毎日グループホームに関わり、支援の充実を図っています。

利用者の高齢化など諸々の課題に関しては、これまでどおりグループホーム会議等で検討し、積極的な提案に努めていきます。

イ 事業の概要

①共同生活援助事業

- 本体施設の職員が積極的に関わることにより、充実した支援を行います。
毎月、利用者仲間とボーリング・ドライブ等の外出の機会を設けます。また、焼き肉、鍋などを囲んで自由に話して楽しく過ごせる時間を提供します。
- 飯伊圏域の他のグループホームと連携を図り交流会等に積極的に参加します。
- 家族の高齢化や世代交代等により疎遠傾向となる家族が増えています。家族と円滑な交流が継続できるよう、定期的に家庭連絡を行い、家族とのつながりが保てるように努めます。
- 地域との「つながり」を大切に可能な範囲で参加が図れるように支援します。
- グループホーム利用者の自治組織「なかよし会」の活動を援助し、親睦会等の計画を利用者の意思を尊重し決定できるよう支援を行います。
- 地域住民との交流会「焼肉会」を開催します。

②人材育成事業

- 世話人の資質の向上を図るため、本体施設で行う内部研修の機会を設けます。
- 外部の世話人研修等へ積極的に参加し、資質向上に努めます。
- 世話人より日常的に寄せられる相談に対し、本体職員が悩みを共有したり、フォロー等を行ない、長期的に従事できる体制を目指します。

③施設設備整備事業

- 現在は2つのグループホームがありますが、さらに多くの利用者が地域移行できるよう、2年度以降も新たなグループホームの開所（建設）を推進します。
- ・地域からの入居希望者
 - ・地域移行を目指す利用者（高齢者、身障者）
 - ・短期利用希望者
- 合わせて7人規模のグループホームの建設

(3) 特定相談支援事業所（明星学園一番星、第二明星学園一番星）

ア 運営方針

次の事項に配慮し公正かつ中立な事業運営を行います。

- ①利用者の意向を踏まえ、自立した日常生活、社会生活を実現するよう努めます。
- ②利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者の選択に基づき、地域生活に移行するための活動に関する支援、常時の連絡体制の確保、障がい特性に起因して生じた緊急事態等に速やかに対応する等、必要な支援を適切に行います。
- ③利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立った相談支援の提供に努

めます。

- ④自らその提供する指定特定相談支援の評価を行い、常にその改善を図るよう努めます。

イ 事業の概要

- ①基本相談支援（障がい者及びその家族等からの相談）

- ②計画相談支援（サービス利用支援・継続サービス利用支援）

本年度は、明星学園、第二明星学園、グループホーム合わせて110名程度のモニタリングを中心に行います。

- ③拠点事業

相談一般支援事業「地域移行支援及び地域定着支援」を行えるよう研究します。

- ④人材育成事業

南信州地域自立支援協議会主催の研修会等に積極的に参加し、職員の資質向上に努めます。

※ 明星学園、第二明星学園及びグループホームの主な事業の年間計画は「別紙 2」のとおりです。

(4) 明星保育園

保育方針

- ① 乳幼児期でないと経験できない学びを十二分に体験する。
- ② 実体験を通して様々なことに興味を持ち、主体的に取り組み、工夫し、粘り強くチャレンジする気持ちを育てる。また、子ども達の試行錯誤する時間と空間のゆとりを保障する。
- ③ ありのままの個性を受入れられ、人から大切にされ、尊重される経験を通じて、人を思い人のために役立ちたいという気持ちを育てる。
- ④ 地域の人々、障がいのある人々との交流を通じていろいろな人との関わりを持ち、様々な生活があることに思いを寄せることができるようにする。

4 保育目標

「自分で考えて自ら動ける子ども」

「思いやりの心を持つ子ども」

5 事業概要（保育）

- 運動・・・楽しみながら体を動かしバランス感覚や柔軟性を育む
- リトミック（外部講師）・・・音楽やリズムに合わせて友達と一緒に楽しむ。
- 絵画（外部講師）・・・創造力豊かに自由な表現を楽しむ。
- 絵本・・・読み聞かせを通して無理なく文字への関心を広げる。
- 音楽・・・歌う、演奏する、聴く。楽しみながら自己表現する。

- 数への関心・・・日常生活の中から遊びを通して数に親しむ。
- 信州やまほいく・・・米作り体験・園外活動・わくわく山の探索
- 地域交流・・・「みつばさ」、「北方の空」、「明星学園」との交流。

6 地域の子育て支援事業

- 一時預かり
- 未就園児交流
- 乳児保育に関する相談、援助事業

7 地域、学校機関との連携

- ボランティアの受入れについて「明星保育園ボランティア受入れマニュアル」に基づき積極的に受入れする。
- 保育士の人材育成への協力等を目的に「明星保育園実習生受入れマニュアル」に基づき積極的に受入れする。

8 行政機関等の連携

- 個別支援計画に基づき、市町村・児童相談所・学校・医療・療育などの関係機関とケア会議等を開催し、園児及び保護者の一人ひとりを支えるネットワークを構築します。

9 家庭との連携

- 個人面談、クラス懇談、保育参加、誕生日会など通じて子ども一人ひとりの保育園での生活や成長の様子等をお知らせする。
- 保護者の利便性を図るため、スマートフォンアプリによる連絡帳、欠席の連絡の充実。
- 各種行事への招待、職員と協働で行う環境整備等を通じて良好な関係を築いていきます。

10 人材育成事業等

- キャリア形成や自己啓発の一環として、自主研修における参加費等の補助。
- 園内研修や外部研修に積極的に参加し職員の資質向上に努める。
- 職場環境の改善や人材確保の観点から、福利厚生の実施やリフレッシュ休暇等の導入。
- 第三者評価機関「しなの福祉教育総研」に依頼し、保育園の運営評価を受ける。

11 働き方改革に伴う業務の効率化

- 年休取得率の向上や時間外労働の削減に向け保育管理等の ICT システムの導入。

12 施設整備

- 2階保育室（0歳児、1歳児）の自主避難経路の整備。（すべり台の設置）
- 子どもの安全確保、園庭の環境整備に伴う築山の撤去、園庭の整備。

4 事業所の概要

(1) 明星学園 障害者支援施設 飯田市駄科2250番地

サービスの種類	生活介護サービス	定員 40名
	施設入所支援サービス	定員 40名
	短期入所サービス（併設型）	定員 4名

建物（延べ床面積）：1,842㎡ 敷地面積：6,015㎡

(2) 第二明星学園 障害者支援施設 飯田市駄科2191番地1

サービスの種類	生活介護サービス	定員 60名
	施設入所支援サービス	定員 60名
	短期入所サービス（空床型）	定員 1名 現員 0名

建物（延べ床面積）：3,175㎡ 敷地面積：7,156㎡

(3) 明星保育園 保育所 飯田市鼎切石3928

サービスの種類	保育所	定員 120名
	・未満児保育事業	
	・延長保育事業	
	・一時預かり事業	

建物（延べ床面積）：1,244.93㎡ 敷地面積：3,571.27㎡

(4) グループホーム（有誠寮、有明寮、北方のぞみハイツ）

サービスの種類	共同生活援助 2棟	
	（北方のぞみハイツ）	定員 4名
	（北方日の出ホーム）	定員 6名

・北方のぞみハイツ	飯田市北方68番地7	床面積 183.2㎡
・北方日の出ホーム	飯田市北方61番地7	床面積 171.4㎡

(5) 特定相談支援事業所（明星学園一番星、第二明星学園一番星）

サービスの種類	特定相談支援事業所	
	明星学園一番星	契約利用者 60名
	第二明星学園一番星	契約利用者 50名

所在地は（建物、敷地）明星学園及び第二明星学園内

5 法人の職員体制(令和2年4月1日見込)

明星学園		第二明星学園	
園長	1名	園長	1名(兼務)
次長	1名	次長	1名(兼務)
事務長	1名(兼務)	事務長	1名
主任	2名	主任	3名
生活支援員	19名	生活支援員	27名(兼務1)
支援員(パート)	9名	支援員(パート)	9名
事務員	1名	事務員	2名
看護師	1名	看護師	1名
栄養士	1名(兼務)	栄養士	1名
パート	5名	パート	6名
計	41名(兼務2)	計	52名(兼務3)

わくわく	
主任	1名(兼務1)
支援員	2名
パート	1名
計	4名(兼務1)

グループホーム	
管理者	1名(兼務)
次長	1名(兼務)
事務長	1名(兼務)
主任	1名
事務員	1名(兼務)
世話人・パート	11名
計	16名(兼務4)

特定相談支援事業所 明星学園一番星		第二明星学園一番星	
所長	1名(兼務)	所長	1名(兼務)
次長	1名(兼務)	次長	1名(兼務)
事務長	1名(兼務)	事務長	1名(兼務)
運営委員長	1名(兼務)	運営委員長	1名(兼務)
相談支援専門員	5名	相談支援専門員	6名
事務員	1名(兼務)	事務員	1名(兼務)
計	10名(兼務5)	計	11名(兼務5)

明星保育園

職種	人数	職種	人数
園長	1	調理員（非常勤）	1
主任	1	調理補助（非常勤）	1
保育士（常勤）	13	事務長	1
保育士（非常勤）	5	事務・保育士兼務	2
保育士（派遣）	1	合計	29
看護師	1		
保育士補助	1		
栄養士	1		

参 考 資 料

明星学園・第二明星学園・グループホーム利用者の状況(令和2年4月1日見込)

①支援区分別 明星学園 第二明星学園

支援区分	生活介護	施設入所支援	生活介護	施設入所支援
区分6	28名	28名	29名	29名
区分5	9名	9名	27名	24名
区分4	4名	3名	11名	8名
区分3	0名	0名	4名	0名
区分2	0名	0名	0名	0名
合計	41名	40名	71名	61名

②出身地の状況(施設入所者)

当圏域(飯田市、下伊那郡)	19名(明星)	29名(第二明星)
長野県内の市町村	21名(明星)	32名(第二明星)

グループホーム

①支援区分別

支援区分	共同生活援助
区分5	2名
区分4	3名
区分3	4名
区分2	1名
合計	10名

②出身地の状況

当圏域(飯田市、下伊那郡)	9名	長野県外	1名
---------------	----	------	----

明星保育園 園児の状況（令和2年年4月1日見込）

（単位：人）

1 園児の状況

■令和2年度4月からの利用人数（利用定員120名）

4月1日現在（単位：人）

クラス	標準時間保育	短時間保育	合計
0歳児	1	6	7
1歳児	5	10	15
2歳児	5	17	22
3歳児	5	21	26
4歳児	9	10	19
5歳児	12	18	30
合計	37	82	119

■地区別園児数

4月1日現在（単位：人）

クラス	県	伊賀良	松尾	上郷	その他
0歳児	4	—	1	—	2
1歳児	13	—	1	—	1
2歳児	12	5	2	—	3
3歳児	20	1	1	1	3
4歳児	15	2	2	—	—
5歳児	20	2	1	—	7
合計	84	10	8	1	16